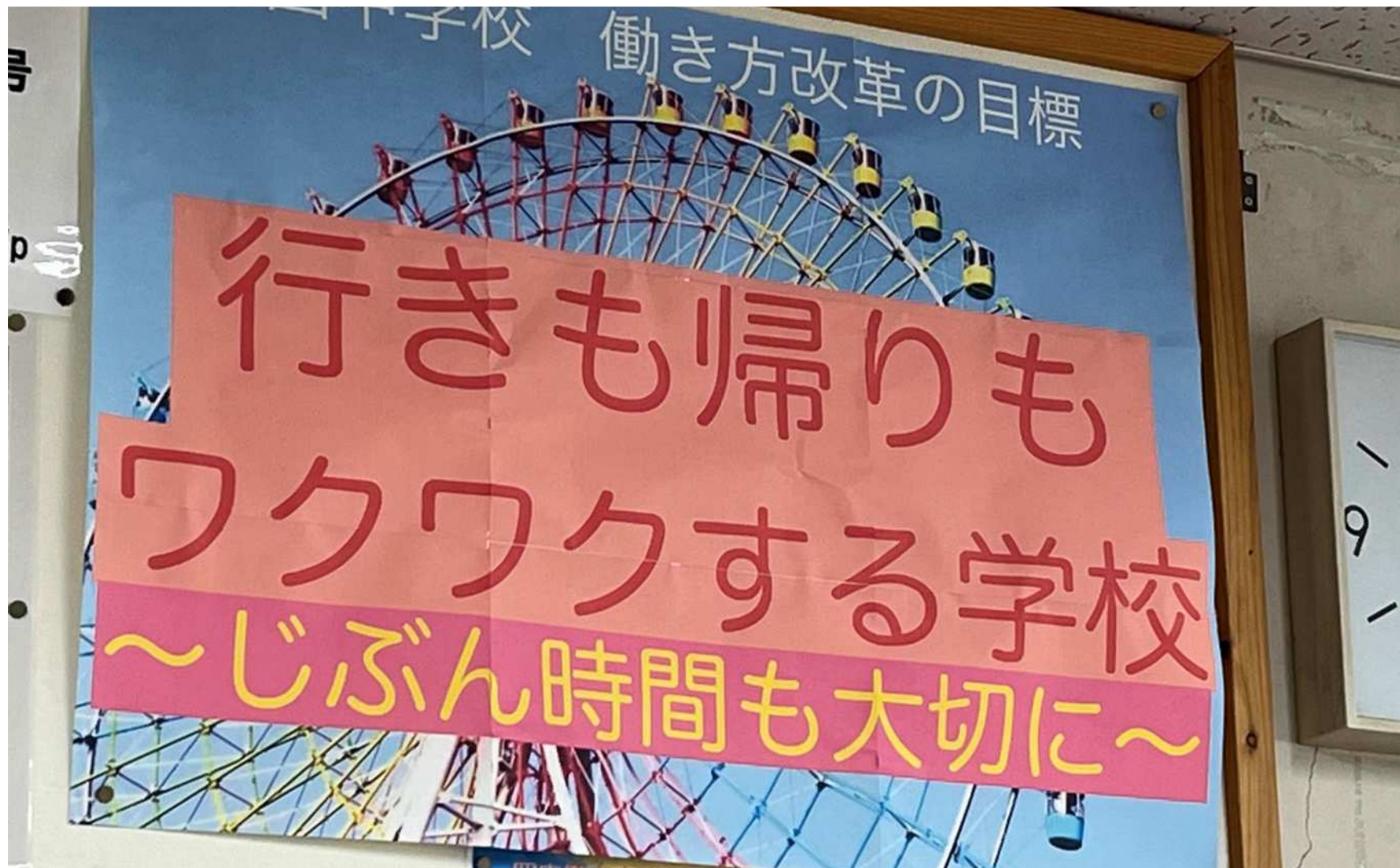


GOOD改革の条件

- (1) 目的や方針を共有
- (2) 全員でKickoffを実施
- (3) ミドルリーダーが駆動

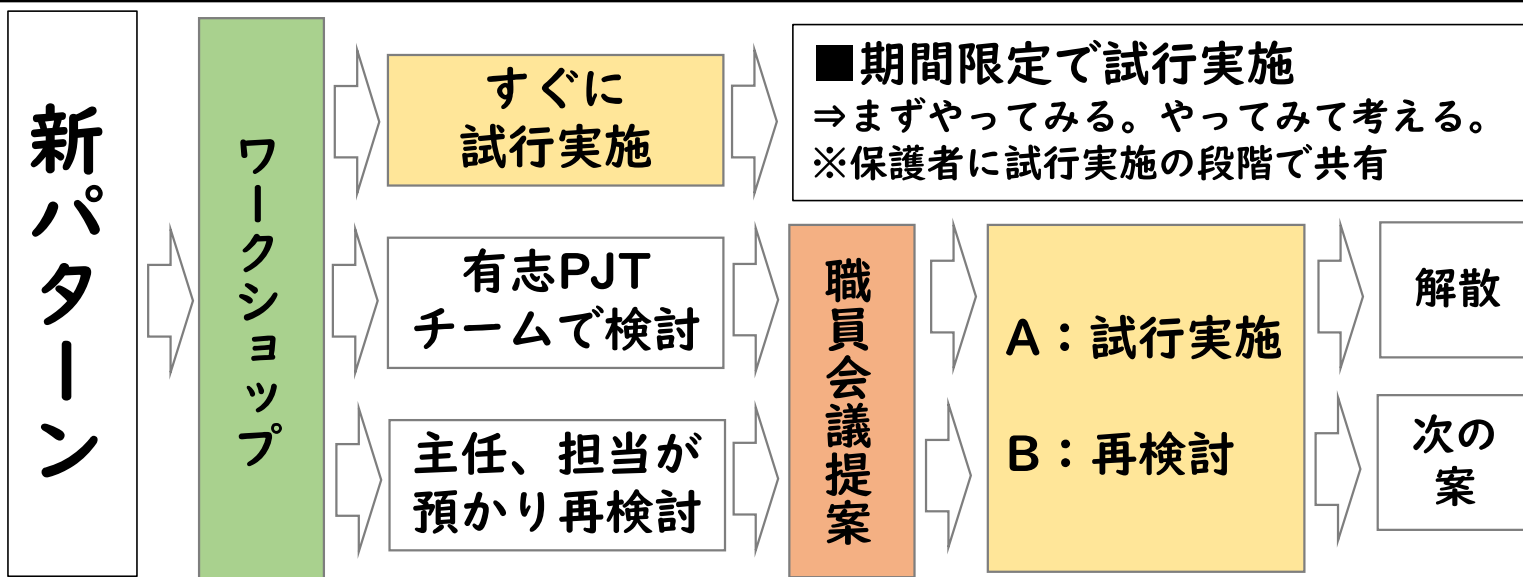
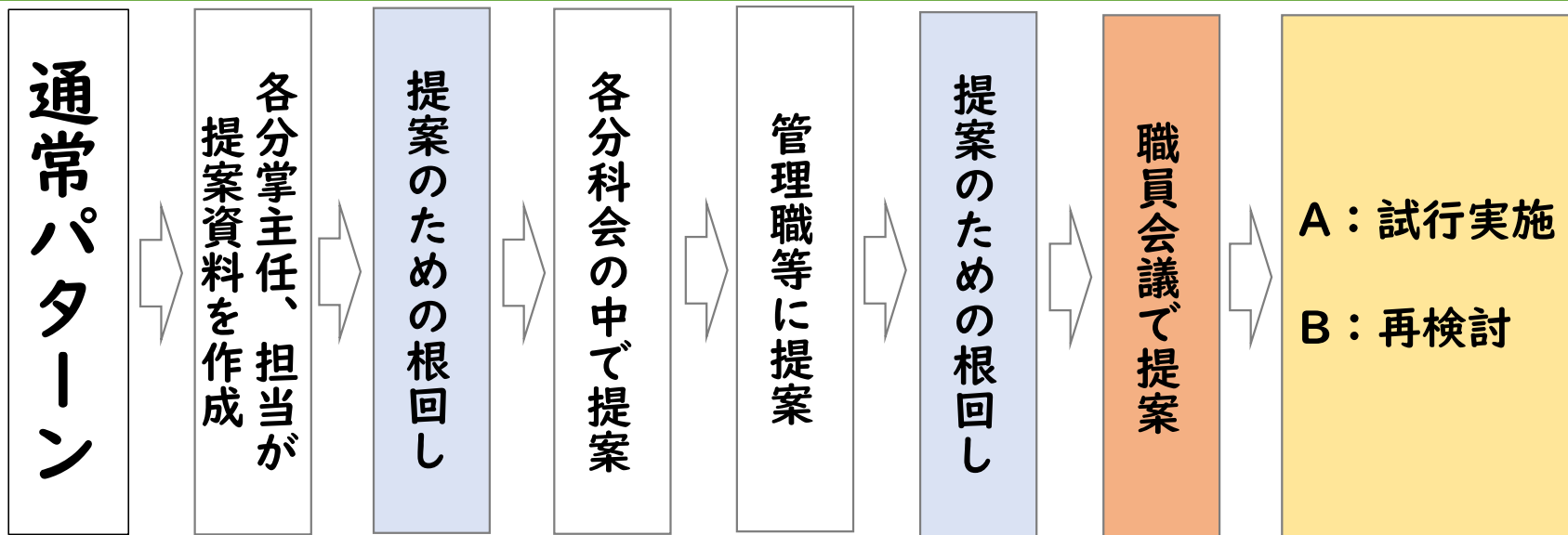
(1) 目的の共有

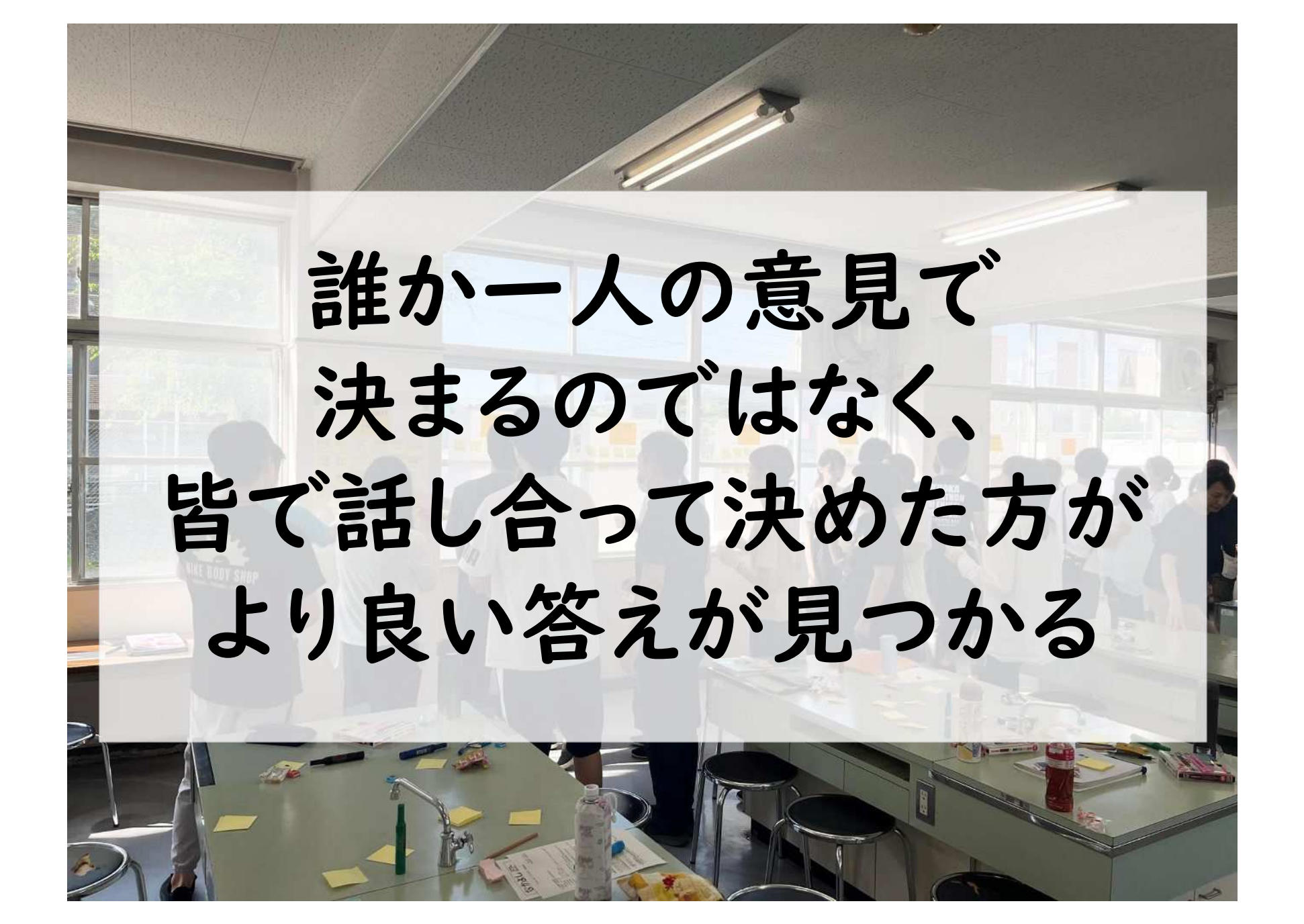


(1) 目的の共有



(2) 全員でKickoffを実施



A photograph of a classroom or workshop. In the foreground, a green table is cluttered with various items including sticky notes, a water bottle, and papers. In the background, several people are standing and talking. A large, semi-transparent white box is overlaid on the center of the image, containing Japanese text. The text reads: "誰か一人の意見で決まるのではなく、皆で話し合って決めた方がより良い答えが見つかる".

誰か一人の意見で
決まるのではなく、
皆で話し合って決めた方が
より良い答えが見つかる

小学校

4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

活動

Kickoffワークショップ



プロジェクト発足
実行と振り返り

- ◆時程変更PJT
毎日こどもの下校
15:30 ⇒ 14:50
- ◆校内研究転換PJT
- ◆自由進度学習PJT
- ◆教科担任制PJT
給食ローテーション
道徳ローテーション
朝/帰りの会ローテーション

振り返りと
仕組み化

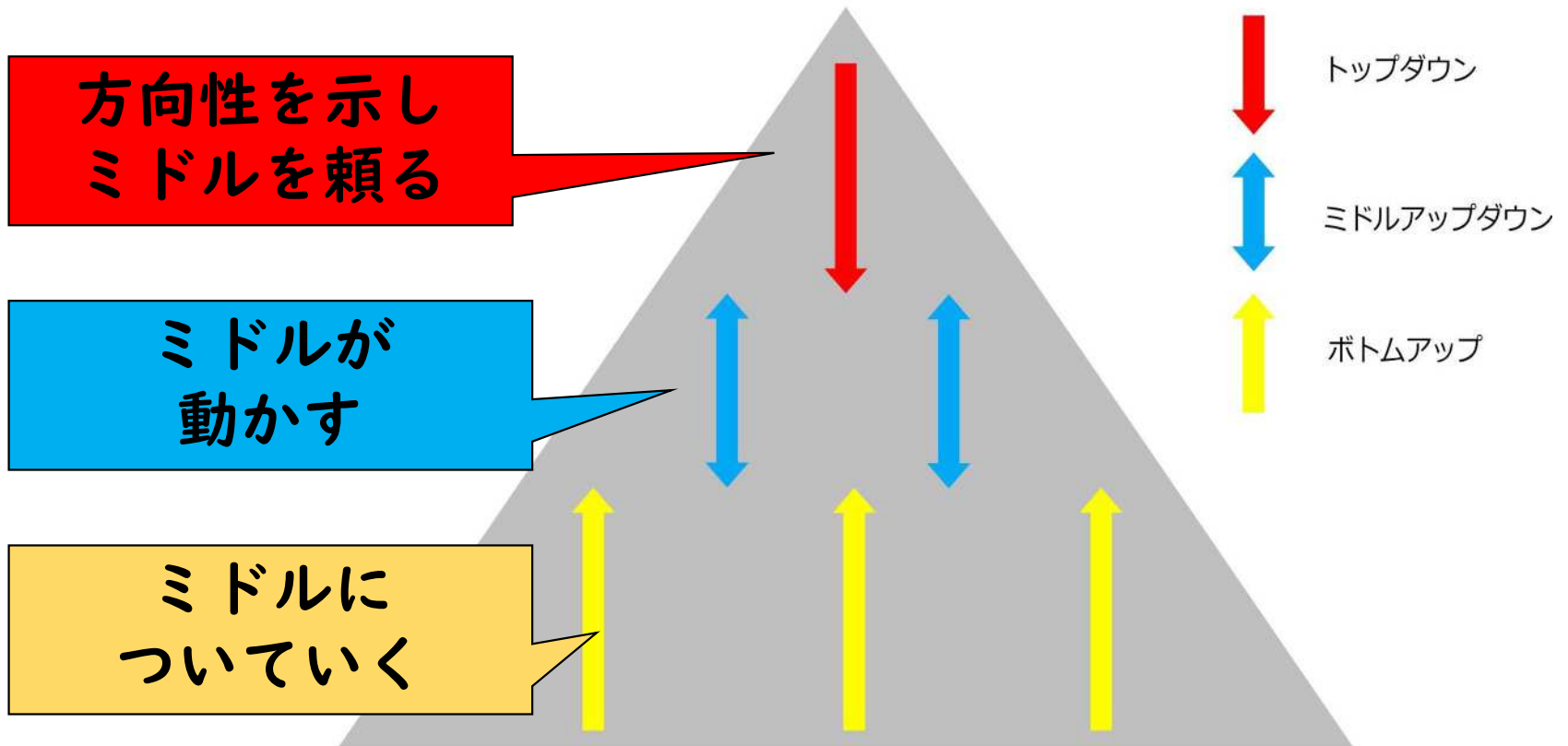


学年	実施	実施内容	実施状況
3学期から	給食ローテーション	給食の準備・配膳・片付けを学年ごとに分担し、役割を明確にする。	給食の準備・配膳・片付けを学年ごとに分担し、役割を明確にする。
3学期から	道徳ローテーション	道徳の授業を学年ごとに分担し、役割を明確にする。	道徳の授業を学年ごとに分担し、役割を明確にする。
3学期から	朝/帰りの会ローテーション	朝/帰りの会の進行を学年ごとに分担し、役割を明確にする。	朝/帰りの会の進行を学年ごとに分担し、役割を明確にする。



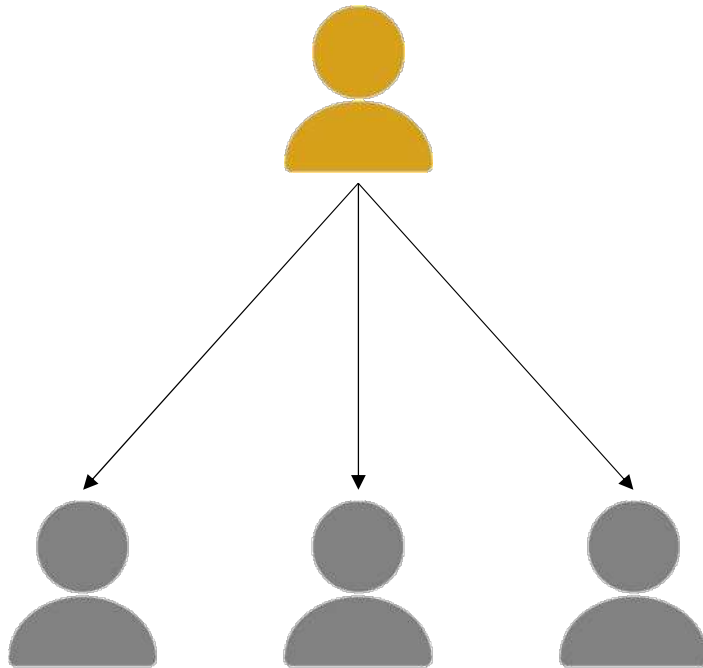
(3) ミドルリーダーが駆動

「ミドルが動くと、組織が動く」

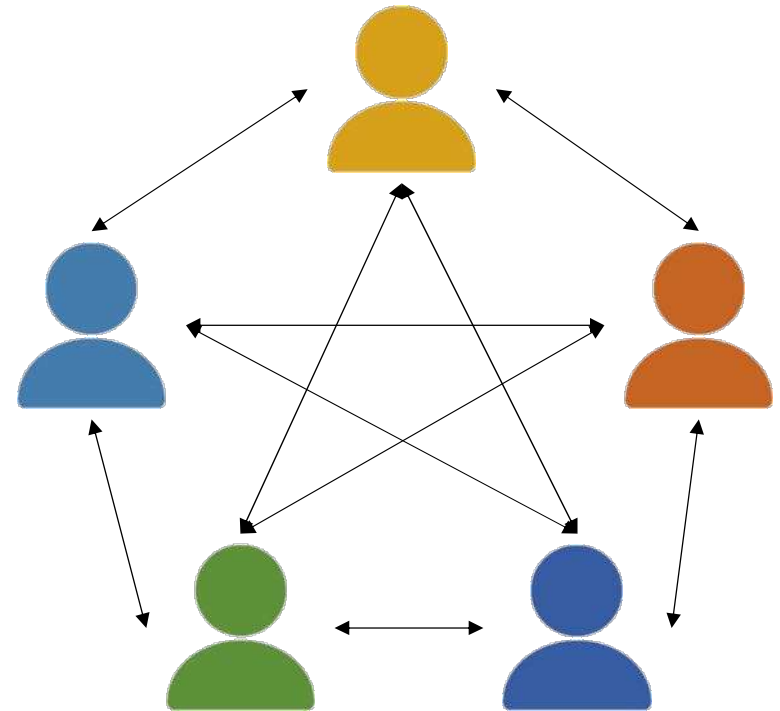


シェアードリーダーシップ

カリスマ型リーダーシップ



シェアードリーダーシップ



校内ワークショップの パターン紹介

働き方改革 — 3つの切り口 —

自助 個人裁量

共助 学校裁量

公助 教育委員会・国裁量

3者それぞれに何ができるのか？
を考えて行動することが大事

各実施校の現在地やニーズに応じて対応

1

これから本格的に始める
→テーマ出しから深掘りまで
(90分)

- 本格的にはこれからなので何から始めたらよいか…
- 出来る範囲で取り組んでいるが…
- 管理職主導で進めてきたが先生たちの本音を聞いてみたい

2

インパクトの大きいテーマに着手したい
→深掘りして衆知を集める
(60分)

- 校内で出来ることはやり尽くしたけど減らない…
- 改善に取り組んでいるが、周辺業務に限定されている
- 管理職主導で進めてきたが先生たちの本音を聞いてみたい

3

本当に共助はやりつくしたが、一部の先生は遅くまで残っている
→個人のタイムデザイン
(60分～90分)

- 共助の部分（仕組）は手を入れつくした
- 時間外在校等時間の平均値も下がってきているが、一部の先生が遅くまで残っている
- 仕事以外のプライベートの時間も大切にしてほしい

4

学校全体で創造的余白は生まれている
→児童生徒主体の学びへの転換
(60分～90分)

- 生み出した余白を何に使うかを転換したい
- 本丸は授業改善！

5

上記のどれにも当てはまらない
→個別にデザイン
(60分～90分)

- 地域・保護者との対話
- グランドデザインやビジョンをつくりたい
- 児童生徒と一緒に何かやりたい
- そもそも校内で集まらない…

① ギャラリーウォークでチームを選ぶ

【お題】

創造的余白を〇〇学校で増やすために、みんなで取り組めそうなことは？



テーマ例

関心のあるテーマを自己選択・自己決定

1. 時程

2. 宿題

3. ○○指導
(掃除/給食)

4. 担任制

5. 校内研究

6. テスト

7. 行事

8. 部活動

9. その他

①&②チームを決めて、シートをつかってリデザイン

- ①【現在の手段】 ・この手段は、だれにとってどんな「価値」があるの？
 ・本音で言うとしたら、この手段の「課題」はなんですか？

価値	課題
<ul style="list-style-type: none"> ・学力の定着化 ・家庭での学習習慣が身につく ・授業だけでやきれない部分を補完することが出来る 	<ul style="list-style-type: none"> ・一斉一律の宿題では生徒一人一人の習熟度に合っていない ・答えを丸写しする生徒もいて、提出する/させることが目的化している（学力への効果も…？） ・提出物チェックの負担が大きい ・お互いの残業みたいになっている

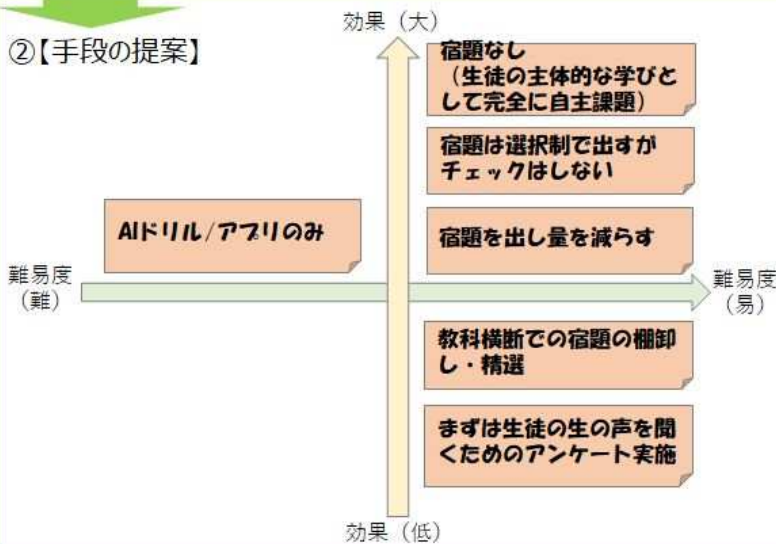
【プロジェクト名】

宿題問い直しプロジェクト

【メンバー】

大野 中野
小野 超野

②【手段の提案】



④【実行計画表】 ・担当者の負担が配慮されていますか？

内容	日付	担当者	チェック	配慮点
校内で提案する日	12/25	大野		資料作成を給食ローテした分で実施
外部に共有する日 (保護者や区教委など)	1/9	中野		学校だよりで保護者に共有
試行実施する日	1/15	超野		各部活動で最適な運営に変更
振り返る日 (改善点を挙げるなど)	1/22	小野		
本運用の日	2/5	大野		

③【新たな手段】 ・みんな（子ども/保護者等/教員）にとって、納得のいく手段なっていますか？

- ・教科ごとにばらつきがあり、提出する/させることが目的化している点、双方の負担も高いため、まずは生徒の声も聞きながら何のためにやるのか（目的）を問い直す
- ・その結果、宿題を生徒の主体的な学び（自己選択・自己決定）につなげていくために宿題・課題無しのお試し期間を1か月設定する
- ・試行実施した上で最適な宿題の在り方を検討する

Project

③個人のタイムデザイン



人生のリデザイン『マイタイムプレゼン』ワークショップ
(目安時間：50分) 開発 先生の幸せ研究所 Adviser 上部 福成

先生の幸せ研究所

WSのゴール：「人生におけるwant toを解放することで理想を描き
それを実現させるためのアクションプランを決めること」

所要時間 10分 Check In インプット①② → 所要時間 10分 「want to」の解放③ あなたがときめく『マイタイム』を出してみよう！ → 所要時間 5分 出した『マイタイム』の中から選び共有する④

Step①「目的の確認」

- ▶タイムマネジメントの目的って？
- ◎ 時間を大切に使うこと
- △ 時間を意識・管理すること

Step②「時間はプレゼント」

- ▶大人も子ども、みんな平等に与えられる
- ▶繰り越し、貸し越しできない



黙読
(1~2分)

Step③「want to」の解放

- ▶あなたがときめく『マイタイム』は？ ※すべてうめなくてもOK
- ▶あなたがときめく『マイタイム』は？ ※終わったら、WORK編もやってみよう！

		プライベート LIFE		仕事 WORK	

Step④「LIFEの中で実現したいベスト3」

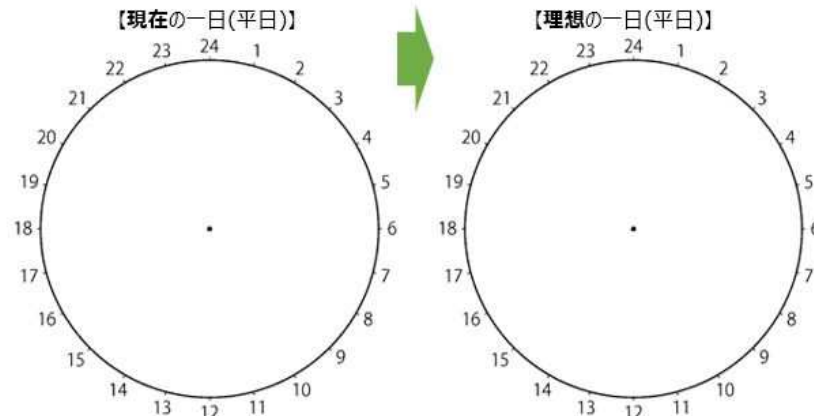
- ▶実現したいことベスト3は？仲間と共有しよう！

1	
2	
3	

所要時間 15分 マイタイムを取り入れた理想の一日を描く⑤ → 所要時間 10分 マイタイムプレゼン⑥

Step⑤「理想の一日を描く」

- ▶あなたの理想の一日は？左側に現在の一日を、右側に理想の一日を表してみよう！



Step⑥「マイタイムプレゼン」

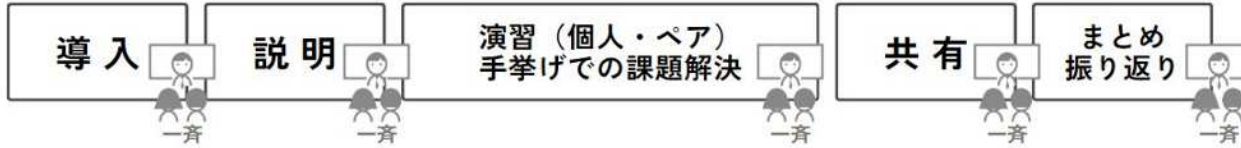
- ▶マイタイムを取り入れた理想の一日は、どうすれば実現できますか？
- ▶まずは、「〇時に帰るだけを実施しよう！」等 部分的に実施でもOK！

実施日	そのための時間術	協働者	実行
例 12/15	・その日の朝にTo doリスト挙げ ・帰る時間にアラームセット	・小野さん ・中野さん	

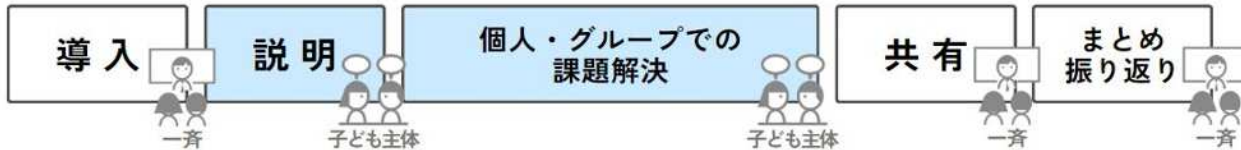
④ 児童生徒主体の学びへの転換

03_ 授業をどう変える？

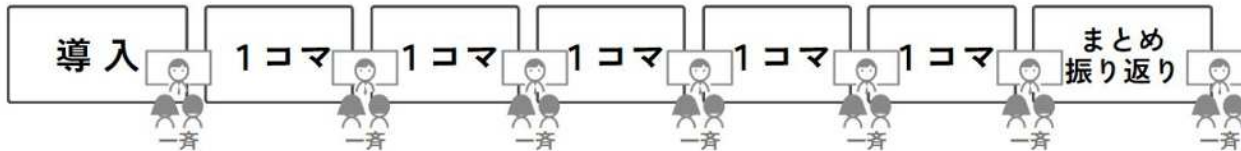
1コマ
(45分/50分)



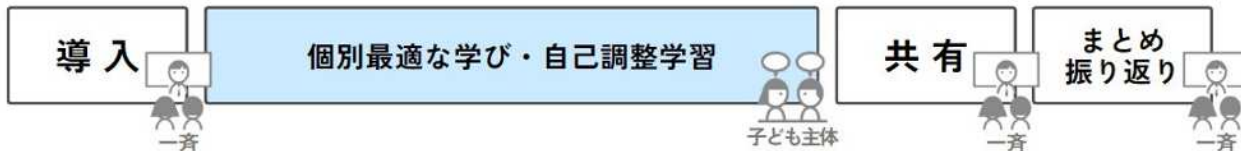
1コマ
(45分/50分)



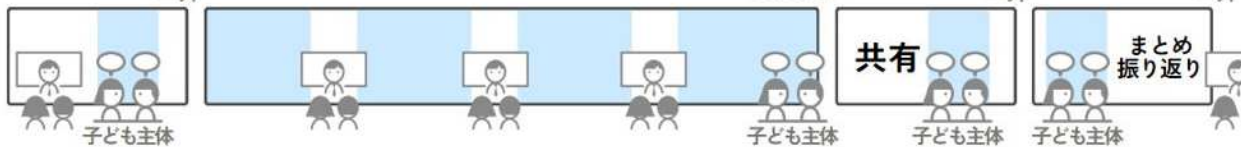
単元
(1コマごと)



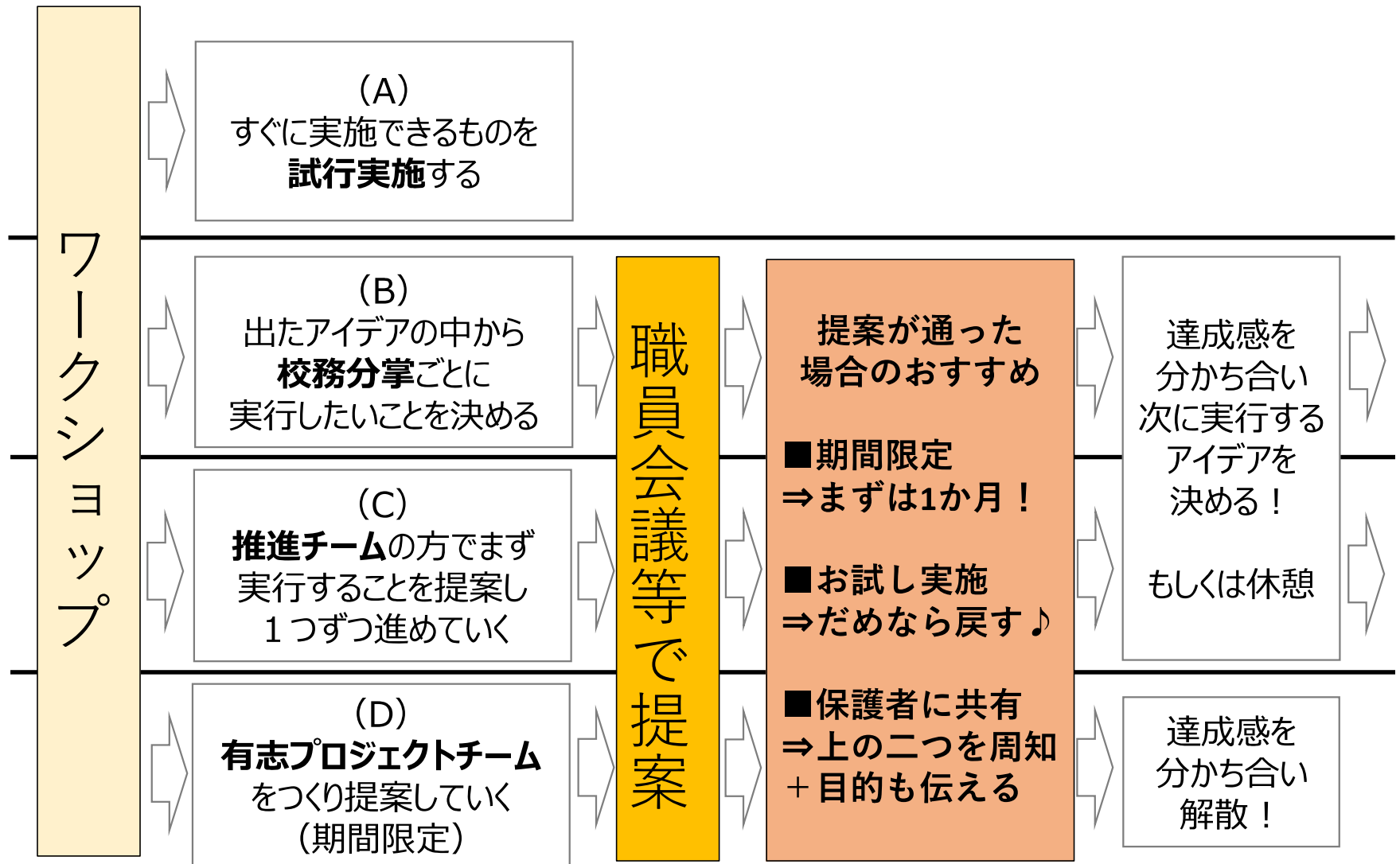
単元で
デザイン



単元で
デザイン



アイデアの実現フローチャート





sensei no shiawase kenkyujo
先生の幸せ研究所